

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0421	地域振興構想推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	2
0421	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	3
0421	里島振興事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	4
0421	里島地域おこし推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	5
0421	姫ヶ浜荘等管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	6
0431	コミュニティ活動振興事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	7
0431	地域におけるまちづくり推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	8
0431	地域協働活動応援事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	9
0432	NPOサポートセンター運営管理業務	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	10
0432	市民活動推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	11
0499	表彰制度実施事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	12
0513	移住定住促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	13

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	地域振興担当	連絡先	948-6942・6897
------	-------------	-----	----------	-----	--------	-----	---------------

1.事業概要【Plan】

事業名	地域振興構想推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0421					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市地域振興構想		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり				
目的・背景	【目的】地域住民と一体になって更なる地域の賑わいや持続的な発展を生み出すことを目的としている。 【背景】『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想により、センターゾーン及びサブセンターゾーンを設定し、各地域の特色を生かした回遊性の高いまちづくりを進めてきた。こうした取組から長い年月が経ち、社会が変化する中、各地域(ゾーン)の特性や課題を見つめなおし、今後のまちづくりの方向性を示した「松山市地域振興構想」を令和7年3月に策定。				
対象・内容	< 忽那諸島 > 【対象】まつやま里島ツーリズム連絡協議会 【内容】対象団体に負担金を交付し、忽那諸島の魅力を感じる・知ることができるイベントを開催するほか、島民等のチャレンジ事業を支援し、忽那諸島の課題解決や活性化につなげる。 < 風早 > 【対象】風早まちづくりネットワーク 【内容】対象団体に負担金を交付し、北条地域の7地区それぞれの特色を生かしたまちづくりに取り組むほか、地域の活性化に寄与する活動を行う団体を支援することで、地域全体の活性化を図る。 < 三津浜 > 【対象】三津浜地区にぎわい創出実行委員会 【内容】対象団体に負担金を交付し、町家バンクやシェアショップの管理運営、三津浜地区の食文化の普及に向けた取組などによって、新たなにぎわいを創出する。 < 久谷 > 【対象】久谷地区まちづくり協議会 【内容】対象団体に負担金を交付し、豊かな自然が育む農作物やお接待文化、歴史的建造物等の地域資源を生かしたイベントなどにより、久谷の認知度向上を図る。 < 人材育成 > 【対象】まちづくり人材育成アカデミー運営委員会 【内容】対象団体に負担金を交付し、まちづくりについて学ぶ講座や実践活動をととして、地域の担い手として地域資源を活用し、地域課題を解決できる人材を育成する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	三津浜地区にぎわい創出 実行委員会への負担金		10,970
予算 (千円)	事業費計	—	23,821	28,175			風早まちづくりネット ワークへの負担金		4,900
	国費・県費		1,000	1,000					
	市債								
	その他		3,435	9,827					
	一般財源		19,386	17,348		まつやま里島ツーリズム 連絡協議会への負担金		4,000	
決算 (千円)	事業費計	—	22,361			主な 取組 内容 【R7】	【忽那諸島】927フェスタin中島の開催、元気な 里島づくり事業補助金の実施		
	国費・県費		1,000				【風早】北条鹿島にぎわいまつりの開催、北条全域 でのスタンブラリー等の実施		
	市債						【三津浜】町家バンク等の管理運営、三津浜焼きの ブランド化、みつはま蚕の市の開催		
	その他		8,054				【久谷】久谷たぬきのOSETTAIマルシェの開催、 ホームページの作成 など		
	一般財源		13,307						
	(執行率)	—	94%						
人役	正規職員		4.5	4.5		特記 事項	令和7年度に愛ランド里島構想推進事業、風早レ トロタウン構想促進事業、三津浜地区活性化推進 事業を統合し、地域振興構想推進事業へ名称変 更		
	その他		0.0	0.0					
	合計	—	4.5	4.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
活動 指標	目指す方向性	単位	目標	-	6	10	14	地域と連携し、各地域の特色を生かしたイ ベントを開催することができた。
			実績	2	6			
	累計で増	回	達成率	-	100%			
成果 指標	三津浜・風早の 空き家バンクの マッチング件数	目標		111	124	142	150	各地域の魅力を発信することで、 マッチング件数の目標を達成することが できた。
		実績		122	137			
	累計で増	件	達成率	109.9%	110.5%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	各地域の特性・魅力の発信や、地域資源を活用したイベントの開催のほか、空き家バンクの登録物件数及びマッチング件数の増加を図ることで、地区内の新たなにぎわいの創出につながった。 また、地域住民等が実施する事業を支援することで、住民主体のまちづくりを推進することができた。						
課題	各地域には空き家や空き店舗が依然として多くあることから、引き 続き空き家バンクへの登録件数やマッチング件数を増加させる。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、松山市地域振興構想に基づい たまちづくりに取り組むため。	

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996
------	-------------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0421				各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】				○	○	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる						
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進			根拠法令	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本構想、 『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本計画		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり						
目的・背景	【目的】小説『坂の上の雲』の3人の主人公が抱いた高い志とひたむきな努力、夢や希望をまちづくりの基本理念に取り入れて、既存の地域資源を最大限活用し、主人公たちのように夢や希望を持ちながら、官民一体となって「物語」が感じられるまちを目指すもの。 【背景】市民とともに物語の随所に描かれる松山の特性を再認識しつつ、将来のしっかりとした都市像を描き、その実現に邁進する姿を発信できれば、観光分野はもとより、まちづくりが大いに進展すると考え、平成12年度から開始。『坂の上の雲』のまちづくりに関する市民への周知やまちづくりへの参加意識の醸成を図るとともに、地域資源を活かした市民活動の支援等を通じて、市民主体のまちづくりを推進している。						
対象・内容	○市民啓発事業 1.『坂の上の雲』ふるさとウォーク … 【対象】市民 【内容】共催事業者に負担金を交付し、小説ゆかりの地や地域資源を巡るまち歩きイベントを開催する。 2. サイクルロゲイニング大会 … 【対象】市民 【内容】『坂の上の雲』のまち松山サイクルロゲイニング大会実行委員会に負担金を交付し、愛媛サイクリングの日に合わせ、自転車地域資源を巡りながらポイントを競う大会を開催する。 3. 松山城周辺センターゾーン啓発事業 … 【対象】親子 【内容】松山城周辺の地域資源について学ばイベントを委託し、松山への愛着を醸成する。 4. 坂の上の雲マップ … 【対象】市民や観光客 【内容】市内にある小説ゆかりの地や地域資源を掲載したマップを作成・配布し、回遊性向上を図る。 ○市民活動支援事業 地域の宝みがきサポート事業 … 【対象】まちづくり協議会または公民館事業推進委員会 【内容】地域団体に補助金を交付し、地域の宝の保存・活用・継承等に繋げる。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	『坂の上の雲』ふるさとウォーク開催負担金		5,200
予算 (千円)	事業費計	13,541	12,806	9,644			サイクルロゲイニング大会開催負担金		2,100
	国費・県費						松山城周辺センターゾーン啓発事業業務委託		1,936
	市債								
	その他	10	10	0					
	一般財源	13,531	12,796	9,644					
決算 (千円)	事業費計	12,629	10,838			主な取組 内容 【R7】	・『坂の上の雲』ふるさとウォークの開催 ・サイクルロゲイニング大会の開催 ・松山城周辺センターゾーン啓発事業 (松山まんなかウォーク)の開催 ・地域の宝みがきサポート事業の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他	1,710	0						
	一般財源	10,919	10,838						
	(執行率)	93%	85%						
人役	正規職員	2.6	2.6	2.1		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	2.6	2.6	2.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	地域の宝みがきサポート事業の補助件数	目標	-	7	6	6	補助金活用の相談はあったが、年度内の事業実施に至らず未達成となった。引き続き補助制度の認知度向上や活用に向けたサポートを行う。		
		実績	6	4					
	現状維持	件	達成率	-	57.1%				
成果指標	『坂の上の雲』のまちづくりの認知度	目標	-	51.9%	54.3%	56.7%	概ね達成したが、イベントや地域活動の支援等による幅広い世代への啓発が必要である。 (第7次総合計画の策定に伴い指標変更)		
		実績	48.2%	48.2%					
	単年で増	件	達成率	-	92.9%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	啓発イベントや地域活動の支援等を実施することで、市民に郷土の歴史や文化を再認識してもらうことができたが、『坂の上の雲のまちづくり』に対する認知度を高めるため、引き続きふるさとウォークやサイクルロゲイニング大会等により、効果的な啓発が必要である。							
課題	多世代の認知や参画を図るため、効果的な啓発が必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	既存事業を継続する中で、イベント内容や周知方法の工夫などにより、引き続き多世代の参加者を増やすよう取り組むため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	島しょ部担当	連絡先	948-6816
------	-------------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	里島振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0421					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市地域振興構想		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり				
目的・背景	【目的】過疎化・少子高齢化が進む島しょ部の持続的な発展と活性化を目的としている。 【背景】平成24年3月に「愛ランド里島構想」を策定。これまでの取組や社会情勢の変化などを踏まえ、令和7年3月に後継の計画となる「松山市地域振興構想」を策定。重点プロジェクトである「定住促進」や「里島ツーリズムの促進」などを推進し、島しょ部の活性化を目指している。				
対象・内容	【対象】島しょ部の独身男性 【内容】一般社団法人愛媛県法人会連合会に委託し、里島出会い創出(婚活)イベントを開催 【対象】島外の住民ほか 【内容】お試し移住施設や空き家バンクの運用等を実施 【対象】来島者及び島しょ部の住民 【内容】まつやま里島ツーリズム連絡協議会に負担金を交付し、体験メニューの実施による里島ツーリズムの推進 【対象】島しょ部から通勤・通学する方や親元を離れて下宿する学生の保護者、松山北高校中島分校へ通学する生徒等 【内容】船舶運賃等を補助 など				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度			主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山市里島通勤・通学者等支援外補助金	16,637
予算 (千円)	事業費計	50,061	41,937	38,665				まつやま里島ツーリズム連絡協議会事業負担金	5,600
	国費・県費	5,424	7,075	6,153					
	市債	0	0	0					
	その他	4,497	4,440	4,438					
	一般財源	40,140	30,422	28,074			里島出会い創出業務委託料	2,563	
決算 (千円)	事業費計	39,213	39,735				主な取組 内容 【R7】	・まつやま里島ツーリズム連絡協議会への負担金の支出 ・出会い創出イベントの開催 ・お試し移住施設や空き家バンクの運営	
	国費・県費	3,494	5,766						
	市債	0	0						
	その他	3,390	4,377						
	一般財源	32,329	29,592						
	(執行率)	78%	95%						
人役	正規職員	1.5	2.0	2.0			特記 事項	本事業は、松山市地域振興構想の策定に伴い、令和7年度より「愛ランド里島構想推進事業」から事業名を変更した。	
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	2.5	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	移住定住促進や 交流人口拡大に向けた 島外でのPR回数		目標	6	6	6	6	島外イベントなどでの情報発信に 積極的に取り組むことで、 目標を達成することができた。	
			実績	10	7				
	現状維持	回	達成率	167%	117%				
成果指標	里島めぐり 体験メニュー参加者数		目標	8,900	8,900	8,900	8,900	参加者数が多くなる夏季に 熱中症警戒アラートが発令されるなど、 目標の9割ほどの実績となった。	
			実績	8,820	7,993				
	単年で増	人	達成率	99%	90%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	一部目標には達しなかったが、島の特色を生かした体験メニュー等を実施し、交流人口の拡大や、 出会い創出イベントの開催やお試し移住施設等の利用促進に努め、移住定住の促進を図ることができた。							
課題	引き続き、交流人口の拡大や移住定住の促進につながるよう、 島の特色を生かした取組を実施することで、 島しょ部の活力を再生し、持続的発展を目指す必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	交流人口や定住人口の拡大に向けた 取組が、島しょ部の活力を再生し、 持続的発展に繋がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	島しょ部担当	連絡先	948-6816
------	-------------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	里島地域おこし推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0421					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市地域振興構想		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり				
目的・背景	【目的】過疎化・少子高齢化が進む島しょ部の持続的な発展と活性化を目的としている。 【背景】平成24年3月に「愛ランド里島構想」を策定。これまでの取組や社会情勢の変化などを踏まえ、令和7年3月に後継の計画となる「松山市地域振興構想」を策定。重点プロジェクトである「定住促進」や「里島ツーリズムの促進」などを推進し、島しょ部の活性化を目指す。				
対象・内容	【対象】島しょ部を拠点に活動する地域おこし協力隊 【内容】隊員とともに、新たな視点で地域の魅力を引き出し、地域活動の支援等を行いながら、隊員自身の定住を図る。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	地域おこし協力隊員 給与		8,259
予算 (千円)	事業費計	15,312	15,919	16,746			地域おこし協力隊員 宿舍等使用料		616
	国費・県費	1,000	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	14	14					
	一般財源	14,312	15,905	16,732		地域おこし協力隊員 研修参加等旅費		168	
決算 (千円)	事業費計	13,445	9,392			主な取組 内容 【R7】	・就任1年目の隊員:「地域を知る」をテーマ に、地域の行事・イベントへの参加・協力を 通し、活動の基盤づくり ・就任2年目以降の隊員:情報発信、 任期満了後の定住等を見据えた活動の 支援		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	9	12						
	一般財源	13,436	9,380						
	(執行率)	88%	59%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	SNS等での情報発信回数 (隊員1人あたり)		目標	50	50	50	50	隊員の育児休暇の取得もあり、 情報発信回数は目標の5割に留まった。	
			実績	26	26				
	単年で増	回	達成率	52%	52%				
成果指標	連携した地域団体数 (隊員1人あたり)		目標	10	17	17	17	隊員の育児休暇の取得もあり、 連携団体数は目標の7割に留まった。	
			実績	18	13				
	単年で増	団体	達成率	180%	76%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	目標は達成できなかったが、 地域団体が行う活動への参加や地域団体と協力したイベント開催など、地域おこし活動を実施することができた。 また、3年の任期満了を迎えた隊員が活動地域に定住するなど、隊員の定住等を見据えた活動を支援することができた。							
課題	引き続き、地域おこし協力隊の活動や定住等を支援することで、 島しょ部の活力を再生し、持続的発展を目指す必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	地域おこし協力隊の活動や定住等が、 島しょ部の活力を再生し、持続的発展に 繋がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	島しょ部担当	連絡先	948-6816
------	-------------	-----	----------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	姫ヶ浜荘等管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理
0421					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		—	—	
施策	愛着と誇りが高まる地域づくりの推進	根拠法令	松山市地域振興構想		
主な取組	愛着と誇りが高まる地域の魅力づくり				
目的・背景	【目的】過疎化・少子高齢化が進む島しょ部の持続的な発展と活性化を目的としている。 【背景】平成24年3月に「愛ランド里島構想」を策定。これまでの取組や社会情勢の変化などを踏まえ、令和7年3月に後継の計画となる「松山市地域振興構想」を策定。重点プロジェクトである「定住促進」や「里島ツーリズムの促進」などを推進し、島しょ部の活性化を目指している。				
対象・内容	【対象】姫ヶ浜荘(ほしふるテラス姫ヶ浜)は利用料金制の指定管理(受託者:特定非営利活動法人ふれ愛ランド中島)、長師休憩所や大串キャンプ場は地元組織への業務委託(委託先:長師地区、小浜地区) 【内容】各施設の運営・維持管理を行っている。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度			主な 経費 (千円) 【R7 決算】	姫ヶ浜荘中庭修繕工事 (繰越事業)	8,639
予算 (千円)	事業費計	24,877	21,136	13,002				姫ヶ浜荘等の光熱水費	3,747
	国費・県費	0	0	397					
	市債	0	0	0					
	その他	17,179	11,235	3,000					
	一般財源	7,698	9,901	9,605			サメ防護ネット製作・設置・ 点検管理・撤去業務委託料	1,826	
決算 (千円)	事業費計	15,634	20,220				主な 取組 内容 【R7】	・指定管理者や地元組織と連携・協力し、 当該施設の維持管理を実施	
	国費・県費	0	321						
	市債	0	0						
	その他	8,208	11,244						
	一般財源	7,426	8,655						
	(執行率)	63%	96%						
人役	正規職員	1.5	1.0	1.0			特記 事項	・令和7年度事業費には当初予算12,496千円に 令和6年度からの繰越事業費(8, 640千円)を含む (姫ヶ浜荘中庭修繕工事)	
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.5	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	姫ヶ浜荘 (ほしふるテラス姫ヶ浜) リーフレット配布数		目標	4,000	5,000	5,000	5,000	市有施設やイベント等で積極的に配布した ため、目標を達成することができた。	
			実績	5,687	5,055				
	単年で増	冊	達成率	142%	101%				
成果 指標	姫ヶ浜荘 (ほしふるテラス姫ヶ浜) 利用者数		目標	3,800	3,800	3,800	3,800	宿泊者が多くなる夏季に 熱中症警戒アラートが発令されるなど、 目標の8割ほどの利用となった。	
			実績	2,921	3,268				
	単年で増	人	達成率	77%	86%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	一部目標に達しなかったが、指定管理者や地元組織と連携・協力し、当該施設の適正な維持管理を行うことができた。 また、指定管理者と連携・協力した事業実施や情報発信により、ほしふるテラス姫ヶ浜の利用促進に取り組むことができた。							
課題	引き続き、ほしふるテラス姫ヶ浜の年間を通した利用促進や 安全・安心して利用できるよう施設の維持管理を行い、 利用者数を増やすことで島しょ部の活力を再生し、 持続的発展を目指す必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	離島振興の拠点である当該施設の 利用促進や維持管理を行うことが、 島しょ部の活力を再生し、 持続的発展に繋がっているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	コミュニティ活動振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0431					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	地域活動・市民活動の活性化	根拠法令	コミュニティ助成事業実施要綱 松山市北条地域コミュニティ放送設備修繕費補助金交付要綱		
主な取組	地域団体活動への支援・協働				
目的・背景	【目的】地域住民組織が自主的に行うコミュニティ活動の推進を図ることを目的としている。 【背景】一般財団法人自治総合センターが、昭和53年度に宝くじの収益金を財源として開始した。				
対象・内容	【対象】地域住民組織 【内容】一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業の周知や要望の取りまとめを行う。 また、北条地域の防災行政無線のデジタル化により、地区へ譲渡されたアナログ同報系防災行政無線(北条コミュニティ放送設備)の修繕に、10万円を限度に1/2を補助する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	一般コミュニティ助成事業補助金		3,700
予算 (千円)	事業費計	9,603	4,000	100					
	国費・県費								
	市債								
	その他	8,407	3,907	7					
	一般財源	1,196	93	93					
決算 (千円)	事業費計	8,929	3,709			主な取組 内容 【R7】	コミュニティ助成事業による地域団体の支援		
	国費・県費								
	市債								
	その他	8,409	3,705						
	一般財源	520	4						
	(執行率)	93%	93%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.3					
	合計	1.0	1.0	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	地域団体へのコミュニティ助成事業の周知		目標	1	1	1	1	地域コミュニティ活動のため町内会連合会等の定例会や市HPを通じて積極的な制度の利用を促した。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	コミュニティ助成事業の採択率		目標	4	4	4	2	申請相談があった町内会等へ適切な支援を行ったが、(一財)自治総合センターの採択が目標を下回った。(R8年度2件)	
			実績	4	2				
	現状維持	%	達成率	100%	50%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	町内会連合会等の定例会や市HPを通じて制度を周知し、申請に向けて各町内会へ適切な支援を行ったが、(一財)自治総合センターの採択決定数が、50%に留まったため。							
課題	採択件数は、宝くじの収益や県全体の申請件数等に左右されるため、年によって幅があり、少ない年は積み残しが発生してしまう。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地域コミュニティ活動の促進や地域社会の健全な発展につながる制度であるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963
------	-------------	-----	----------	-----	---------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	地域におけるまちづくり推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0431					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	地域活動・市民活動の活性化	根拠法令	松山市地域におけるまちづくり条例、まちづくり基本構想、まちづくり基本計画		
主な取組	地域団体活動への支援・協働				
目的・背景	【目的】住民自治組織「まちづくり協議会」の設立や設立後の支援を通じて市から一定の権限・財源・責任を移譲することで、自助・共助・公助の原則に基づく住民主体のまちづくりを推進し、地域分権型社会を実現することを目的としている。 【背景】地域コミュニティが一定の裁量を持ち、自己決定、自己責任によるまちづくりに取り組めるよう、地域分権型社会の実現を目指し、平成21年4月に「松山市地域におけるまちづくり条例」を制定した。				
対象・内容	【対象】まちづくり協議会準備会及びまちづくり協議会 【内容】「松山市地域におけるまちづくり交付金」・「松山市地域におけるまちづくり補助金」を支出するほか、以下の支援を行う。 ①設立支援(各地区で勉強会や説明会を実施し、制度の主旨や概要を周知) ②設立後の支援(協議会設立のための組織づくりや規約づくりなどの技術的支援、会議等への出席、まちづくり計画の策定支援、事業運営のアドバイス) ③広報活動(まちづくり協議会の取組を周知するための広報) ④情報交換(地域力パワーアップ大会や事務局連絡会の開催を通じた、まちづくり協議会活動の情報交換)				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	地域におけるまちづくり 交付金		53,070
予算 (千円)	事業費計	82,576	82,410	87,049			地域におけるまちづくり 補助金		23,755
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	82,576	82,410	87,049					
決算 (千円)	事業費計	79,113	80,380			主な 取組 内容 【R7】	・まちづくり協議会への交付金等の支出 ・まちづくり計画の策定支援 ・他地区の取組に関する情報提供 ・未設立地区への情報提供 ・コミュニティアドバイザーの派遣 ・まちづくり基本計画の改訂		
	国費・県費								
	市債								
	その他		1						
	一般財源	79,113	80,379						
	(執行率)	96%	98%						
人役	正規職員	4.0	5.0	5.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	4.0	5.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	フェイスブック松山市まちづくり情報局のリーチ数		目標	20,000	21,000	33,000	33,000	積極的に協議会活動の情報を発信することに加え、各協議会が発信する投稿をシェアするなど、発信回数の増に取り組んだ。	
			実績	23,553	32,470				
	単年で増	件	達成率	118%	155%				
成果指標	まちづくり協議会・設立準備会の設立数		目標	39	39	39	39	未設立地区への情報提供及び会議の案内等を行ったものの、令和7年度に準備会及び協議会の設立はなかった。	
			実績	31	31				
	累計で増	団体	達成率	79%	79%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	31協議会のイベントや会議などに各担当が積極的に向かい、団体の運営やまちづくり計画策定への支援、各協議会の要望や相談に対し、丁寧に対応できた。							
課題	まちづくり協議会の持続的な運営および、地域におけるまちづくりの全地区への普及。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各地区のまちづくり協議会への支援を通じて、地域の魅力創出や課題解決などの取組につながっている。未設立地区にも粘り強く支援する。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	地域協働活動応援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0431					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	地域活動・市民活動の活性化	根拠法令	松山市地域におけるまちづくり交付金交付要綱		
主な取組	地域団体活動への支援・協働				
目的・背景	【目的】より暮らしやすい地域づくりのため、町内会連合会や町内会・自治会などの地域コミュニティ組織を支援し、また、地域住民が自主的に行う防犯、社会福祉、環境美化などの地域活動を推進することを目的としている。 【背景】平成25年度の広報委員制度見直しに伴い、これまで広報委員が担っていた広報・広聴業務や防犯活動、募金活動などの地域活動が停滞する懸念があったため、平成26年度から地域が行う様々な活動を支援する本事業を開始した。				
対象・内容	(1)地域協働団体の支援 【対象】市内40地区の地域協働団体(まちづくり協議会、町内会連合会など) 【内容】地域協働活動に関する協定書を締結し、その協定に基づいて交付金を交付する。また、定例会に市職員が出席し、市政の周知や依頼を行うほか、意見や要望を聴くなど、地域との連携を図る。 (2)地域活動保険への加入 【対象】市民 【内容】地域の方々が安心してコミュニティ活動に参加できるよう、活動中のケガや事故を対象とした保険制度に市が加入する。 (3)町内会への加入促進 【対象】町内会、転入者等 【内容】町内会への加入率の低下により地域活動の停滞が懸念されることから、毎年度町内会等の状況調査を実施して加入率の推移を把握するとともに、町内会加入啓発チラシを転入者等に配布する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	地域協働活動応援事業交付金	57,254	
予算 (千円)	事業費計	58,696	58,856	58,384			地域協働活動保険料	502	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	58,696	58,856	58,384					
決算 (千円)	事業費計	57,698	57,786			主な取組 内容 【R7】	・地域協働団体への支援 ・地域活動保険への加入 ・町内会への加入促進		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	57,698	57,786						
	(執行率)	98%	98%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.4					
	合計	1.0	1.0	1.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	町内会等への加入促進チラシ活用の案内	目標	1	1	1	1	町内会連合会の総会での周知を目標としており、漏れなく案内できた。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
成果指標	町内会加入率		目標	83	70	70	70	住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下に歯止めがかからない。 ※実情を踏まえ、R7年度から現状維持を目指す指標に変更した。
			実績	70	70			
	現状維持	%	達成率	84%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	市が作成した加入啓発チラシを、各町内会連合会等の地域をはじめ、転入者やマンション建設業者が来庁する市の窓口で配布するとともに、宅建協会から不動産仲介店舗、市内大学や専門学校へのチラシ設置の協力を要請した。						
課題	チラシの配布等による周知啓発に努めたが、住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下により、町内会への加入率が低下している。				今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	R7年度に町内会加入啓発チラシをリニューアルしたほか、新たに専門学校への配布を行ったため、今後の状況を注視したい。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名 0432	NPOサポートセンター運営管理業務	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	2:委託
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	—	
施策	地域活動・市民活動の活性化	根拠 法令	松山市市民活動推進条例、まつやまNPOサポートセンター事業実施要綱		
主な取組	市民活動の推進				
目的・背景	【目的】市民活動の拠点として、人材育成、情報収集・提供等の事業を展開し、NPO等の活動を支援することを目的としている。 【背景】平成10年12月に「特定非営利活動促進法」が施行されたことにより、平成13年度に松山NPOサポート委員会を設置し、平成14年7月にまつやまNPOサポートセンターを開設した。				
対象・内容	【対象】 まつやまNPOサポートセンター 【内容】 相談・団体個別支援、講座の開催・企画、情報発信(メルマガ等)、市民活動交流、実態ニーズ調査などを実施 【委託先】 認定NPO法人 アクティブボランティア21				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	まつやまNPOサポートセンター運営に係る委託費	18,932	
予算 (千円)	事業費計	21,684	20,875	20,700			コムズ水道光熱費負担金 (まつやまNPOサポートセンター分)	1,008	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	21,684	20,875	20,700					
決算 (千円)	事業費計	20,348	20,415			主な取組 内容 【R7】	・NPOの活動等に関する講座の開催 ・NPOの運営等に関する相談対応 ・NPO関連の情報発信		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	20,348	20,415						
	(執行率)	94%	98%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	NPOの活動等に関する 講座の開催回数		目標	15	25	25	25	年間26回予定していたが、希望者が少なく、開催できなかった講座があったため。	
			実績	27	22				
	現状維持	回	達成率	180%	88%				
成果指標	NPOの運営等に関する 相談対応の件数		目標	1,000	1,000	1,000	1,000	定期的にNPOに関する講座を開催しているため、相談が講座内で解決していることやスキルが上がり、自立した団体が増えたことが考えられる。	
			実績	800	765				
	現状維持	件	達成率	80%	77%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	活動指標、成果指標ともに目標値を下回ったが、NPOのニーズに応じた講座の開催やブログ、メールによる情報発信を行うなど、積極的にNPOのサポートを行うことができたため。							
課題	NPOが抱える課題として、組織運営に携わる人材や財源の確保に加え、発信力不足、デジタル化の遅れ、新たな活動の場の提供等が挙げられるため、その支援が必要。					今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	SNS活用講座を新たに実施し、発信力不足、デジタル化への遅れの支援を行うことや新たな活動の場として、地域とNPOをマッチングさせる方策を検討しているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	市民活動推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0432					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	地域活動・市民活動の活性化	根拠法令	松山市市民活動推進条例、松山NPO登録要綱、松山市市民活動推進補助金交付要綱		
主な取組	市民活動の推進				
目的・背景	【目的】市民一人ひとりが主体的、自立的にまちづくりを進める社会を実現することを目的とする。 【背景】平成10年12月「特定非営利活動促進法」施行 平成11年度 市民活動モデル調査検討会の設置 平成12年度 松山市NPO検討委員会の設置 平成13年度 松山市NPOサポート委員会の設置 平成14年～16年度 NPO成熟促進委員会の設置 平成17年度から 市民活動推進委員会の設置				
対象・内容	【対象】 松山市NPO登録団体 約200団体 【内容】 市と市民が一体となって市民活動を支援する仕組みとして市民活動推進基金を設置し、市NPO登録団体に対して事業費の一部を助成する。 また、市民活動団体等の表彰や活動報告会の開催等により、市民活動に関する啓発を積極的に行うとともに、官民連携により市民の社会貢献に対する意識の高揚を図る。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山市市民活動推進基金 積立金(寄付＋一般財源)		7,181
予算 (千円)	事業費計	15,252	16,741	11,323			松山市市民活動推進 補助金		4,584
	国費・県費								
	市債								
	その他	11,887	12,591	10,800					
	一般財源	3,365	4,150	523					
決算 (千円)	事業費計	10,529	12,137			主な取組 内容 【R7】	・市民活動を行う団体への事業補助金の 交付 ・庁内の市民活動体験研修の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他	7,317	8,174						
	一般財源	3,212	3,963						
	(執行率)	69%	72%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.3					
	合計	1.0	1.0	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	まちづくり提案制度(次世代育成支援事業)採択数		目標	10	10	10	10	令和7年度募集分より、補助金額と利用回数の引き上げや、公式LINEへの配信、支所へのチラシの配架など、周知方法の見直しを行ったため。	
			実績	4	17				
	現状維持	件	達成率	40%	170%				
成果指標	松山市NPO登録団体数		目標	200	200	200	200	市民活動推進補助金への申請団体が増加したことや、松山市にNPO登録をしていない、市内のNPO法人に、制度案内を実施したことで、登録申請が増えたため。	
			実績	199	215				
	現状維持	件	達成率	99%	108%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	まちづくり提案制度(次世代育成支援事業)は、制度内容や周知方法の見直しにより、採択団体数が過去最多の17件となり、まちづくり活動を行う若者を多く支援することができた。また、市内のNPO法人に対して、登録勧奨に力を入れ、目標を上回ることができた。							
課題	市民協働まちづくりモデル事業への申請が低調であるため、見直しが必要。また、NPOの財源確保や新たな活動の場を創出するための施策の検討が必要。					今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	より使いやすい補助制度となるよう見直し、申請件数の増加を図るほか、NPOへの新たな支援策を検討しているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963
------	-------------	-----	----------	-----	---------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	表彰制度実施事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0499					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		－	－	
施策	その他	根拠法令	松山市市政功労者表彰条例、松山市表彰規則		
主な取組	その他				
目的・背景	【目的】本市の名声を高め、郷土の誇りとして、社会の希望と活力の高揚に寄与したもの、広く市民へ感動を与えたもの、または本市の公益等に尽くしその寄与するところが著しいもの及び市民等の模範となる優れたものに対して表彰を行うことで、市民意識の高揚に貢献することを目的としている。 【背景】平成12年度に「松山市栄誉賞」「かがやき松山大賞」の2表彰制度を新設、既存の市長表彰を「きらめき松山市民賞」として整理した。平成24年度には「松山市文化スポーツ栄誉賞」表彰を新設。				
対象・内容	【対象】「松山市栄誉賞」「松山市文化スポーツ栄誉賞」「かがやき松山大賞」に該当する、松山市にゆかりのある人 【内容】表彰状と副賞等を贈る。 かがやき松山大賞は、年2回(10月頃、2月頃)合同での表彰式を開催。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	報償費(賞状及び副賞)		2,810
予算 (千円)	事業費計	1,889	1,934	1,310					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,889	1,934	1,310					
決算 (千円)	事業費計	1,731	2,964			主な取組 内容 【R7】	松山市文化スポーツ栄誉賞3件 かがやき松山大賞66件		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,731	2,964						
	(執行率)	92%	153%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	文化スポーツ栄誉賞受賞者への賞賜金支給により、報償費が増加したため、流用。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	かがやき松山大賞 表彰式の開催		目標	2	2	2	2	予定通り合同による表彰式を2回開催。	
			実績	2	2				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	年2回の合同での表彰式とすることで、様々な分野の被表彰者が互いに刺激し合う場とすることができた。また、スケールメリットを生かし、広く情報発信することができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の名声を高めた活躍を称え、広く市民に周知することは不可欠な取組である。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	移住・定住担当	連絡先	948-6095
------	-------------	-----	----------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	移住定住促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0513					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令			
主な取組	移住・定住の促進				
目的・背景	【目的】移住先として選ばれるまちを目指すとともに、本市に住み続ける人やUターンする人の増加を図ることを目的としている。 【背景】人口減少や若者の流出が課題となる中、移住候補地としての認知度向上や実際に来て体感してもらう機会の充実、シビックプライドの醸成が必要である。				
対象・内容	【対象】(松山市への)移住を検討している人、市内の若者 【内容】 1.移住ウェブサイトの運営 2.まつやま圏域移住フェアの開催・移住フェアへ出展 3.松山の暮らしを体感できるツアーの実施 4.県外在住の移住検討者を対象にした交通費や宿泊費の補助事業 5.県外から移住した子育て世帯、若者世帯を対象にした引越し費用の補助事業 6.県外から移住した子育て世帯を対象にした住宅取得費用の補助事業 7.若者・移住者交流会の開催 8.プロジェクトチーム「マツワカ」運営				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	プロジェクトチーム「マツワカ」運営事業業務委託料		15,070
予算 (千円)	事業費計	52,497	59,959	61,787			まつやま・家族いっしょい事業補助金(引越し費用の補助)		9,438
	国費・県費		22,902	26,260					
	市債								
	その他								
	一般財源	52,497	37,057	35,527		まつやま移住者定着支援事業補助金(住宅取得費用の補助)		9,400	
決算 (千円)	事業費計	47,857	56,515			主な取組 内容 【R7】	・移住ウェブサイトの運営 ・東京などで開催する移住フェアへの出展 ・松山暮らしを体感する移住ツアーの実施 ・移住検討者が視察に来る際の補助事業 ・県外から移住した子育て世帯、若者世帯を対象とした補助事業 ・プロジェクトチーム「マツワカ」の運営		
	国費・県費	16,858	20,838						
	市債								
	その他	5,000	2,100						
	一般財源	25,999	33,577						
	(執行率)	91%	94%						
人役	正規職員	4.0	4.0	4.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	4.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	移住ツアー、移住フェア の実施回数		目標	25	26	26	26	オーダーメイド型移住ツアーの実施や移住 フェアへの積極的な出展により、目標を達 成した。	
			実績	25	26				
	単年で増	回	達成率	100%	100%				
成果 指標	移住相談件数		目標	1,430	1,480	1,530	1,580	移住ツアーの実施や移住フェアへの積極的 な出展、情報発信により、目標を達成した。 (第7次総合計画の策定に伴い指標変更)	
			実績	1,959	2,068				
	単年で増	件	達成率	－	140%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	移住ツアーの実施や移住フェアへの積極的な出展に加え、引越し費用ほか各種移住支援制度を充実させ、効果的な情報発信により、 予定を上回る移住相談件数を達成できた。							
課題	活動及び成果指標は、ともに目標値を達成しているが、10代・20代 の転出超過が続いており、今後も若者や女性、子育て世帯の定着及び 移住の促進に向けて重点的に取り組む必要がある。					今後の 方向性	見直しを検討	左記の 理由	人口減少が進む中、日本全国から松山市に 「住みたい」「住み続けたい」と思われるま ちを目指す必要があるため、対象者に合わ せた取組を進める。